

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2020年2月実施／まつぼっくり子ども教室

常勤2名・非常勤5名の回答

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	意見
施設・設備の整備	① 利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか	6	1		
	② 指導員の配置人数は適切であるか	4	2	1	・国の基準は満たしているが、それだけでは足りない部分もある。
	③ 子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故障などはないか	4	3		・破損や故障などの箇所を見つけたら周知し、修繕している。
	④ 子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	7			・訪問者が来た時(ドアが開いた時)に鳴る音楽設置を付けている。
活動の全体状況の整備	⑤ 虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっているか	6	1		・日々の反省会や研修会でなっている。
	⑥ 防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか	1	5	1	・子どもも交えた訓練は、定期的には行なっていない。
	⑦ 感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行なっているか	6	1		・アルコールスプレーの設置をしたり、行政から来たマニュアルを掲示し、スタッフに周知することで実行している。
	⑧ 個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか	6		1	・個人情報が載った書類はシュレッダーでの処理を行なっている。 ・一方でミーティングやケースの書類が置きっぱなしになってることがある。
	⑨ 子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか	7			
	⑩ 食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか	7			
	⑪ 子どもの活動の記録を書いているか	7			・日々のとりくみ後の反省会で記入している。
実践的な力量の向上	⑫ 子どものことがわからないと感じたとき、どうしてなのかと考えたり、働きかけて変化をつくりだしたり、ほかの職員に意見を聞くなどしているか	6	1		・反省会やSMで話し合うようにしている。 ・どうしてなのかをスタッフ間で話し合うことが十分にできているのか、疑問だ。
	⑬ 子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか	6	1		・反省会やSMで話し合うようにしている。 ・日々の雑談の中でも相談や話を出すようにしている。
	⑭ 気持ちの育ち(人格の形成)には、その子固有のテンポがあるということや、子どもの発達は、ひたすら前進するのではなくて、新しい矛盾を抱え込むということを押さえて、子どもを理解しようとしているか	7			・反省会やSMでスタッフ間で話し合う中で理解しようとしている。
	⑮ 学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか	7			
	⑯ 子どもの育ちの状況を確認し、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか	6	1		
	⑰ 会議や研修会を定期的に関いて、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか	6	1		・スタッフ研修会(法人独自)、外部研修会への参加、日々の反省会等で学習している。
	⑱ 子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか	7			
保護者・関係者との関係づくり	⑲ 保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか	5	2		
	⑳ 保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか	7			・日々の引き継ぎでしている。また必要であればその際に十分に時間をとっている。
	㉑ 保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか	7			・話が出た時や自分だけでは解決できない時には、スタッフ間で報告し、対応している。
	㉒ 苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか	7			・自分では解決できない時には上司に報告し、対応している。
	㉓ 学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか	6	1		・文化祭、体育祭などの行事に参加している。

<正規職員への設問>

保護者・関係者との関係づくり	①	保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか	2		
	②	会報などを定期的につけて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりしているか	2		・定期的なたよりの発行を行なっている。
	③	保護者が自主的に作る父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか	2		
	④	親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか	2		
	⑤	学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか	2		
	⑥	学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか	2		・日常的には、学校お迎えの時に立ち話程度の意見交換はしている。また、必要に応じて時間を取ってもらい話しをしている。
	⑦	学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡を取っているか	2		
	⑧	地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか	2		・地域に向けた行事である餅つき会やふれあいまつりを通して、努力している。
	⑨	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか	2		

<管理者への設問>

保護者・関係者との関係づくり	①	子どもが入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明しているか	1		
	②	障害児相談支援事業所の担当者と連絡を取っているか	1		
	③	協力をしてもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	1		

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

2020年2月実施/まつぼっくり子ども教室

回答率92%

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	ご意見	改善策等
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12			・子どもの人数が多い時は、十分ではないと思う。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2		・昨年度法人の正職員の方が2人辞められたので、現正職員の方々の負担が心配です。	・現在、法人として職員募集をしております。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12			・欲をいえば、外階段にも手すりがあると安心です。	
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	12			・子どもに問題行動があった時、子どもの立場に立った支援を、その都度考えてくれる。支援がきめ細やか。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか(注1)	10	2		・日々の活動の中で、子どもの障害特性や課題を明確に捉えきれていないのでは、と感じることがある。 ・学校の行事等にも柔軟に対応していただけているので助かります。 ・子ども達の自主性を配慮したプログラムになっている。	・常勤、非常勤共に、さらに適切な支援ができるよう、off JT、OJTに力を入れます。
	⑥ 虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか	12				
	⑦ 火災や地震、感染症などの対策がなされているか	8	4		・インフルエンザ発症の恐れがある子を教室で預かっていたことがあった。別室に隔離しているとはいえ、誰か職員は接しなくてはいけないため、感染拡大の可能性があると思う。 ・ほぼ対策がとられているが、感染予防のためのアルコール等が玄関先にあるとよい。	・感染症防止対策と受入れが必要な子に対するの対応については、保護者のご心配を十分に受け止めた上で、都度、最善策を検討していきます。
保護者への説明・関係づくり	⑧ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				
	⑨ 日頃から子どもの状況を職員と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	12			・毎日引継ぎの時に保育時の様子や家での様子をスタッフと話しています。	
	⑩ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12				
	⑪ 保護者会活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12			・保護者会が負担になることもあるかと思いますが、スタッフが私達以上にがんばってくれていると思います。	
	⑫ 保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	4		・苦情をほとんど聞くことがないので、どんな時にどんな苦情が出て、どんな対応をしたのか？がよくわからない。	・ご意見等ある場合は、いつでも職員にお伝えください。職員に直接伝えづらい場合は保護者会役員にお伝えください。また、当法人は専務理事が苦情受付責任者となっております。法人に伝えづらい場合は、下記に連絡してください。 東京都社会福祉協議会 福祉サービス運営適正委員会 03(5283)7020
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報などを、保護者に対して発信しているか	10	2			・活動予定等は毎月1日に翌月の計画表を配布しています。また、隔月で行なっている保護者会で行事の説明や案内をしています。 ・会報「たよりウィズ」や親子行事(納涼会・進路報告会)等で、子どもや活動の実践の紹介をしています。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	8	4			・書類の整理整頓を始め、個人情報の管理に対し、常勤、非常勤問わず、再度徹底します。
満足度	⑮ 子どもは通所を楽しみにしているか	12			・毎回とても楽しみにしています。 ・楽しそうに通所しているし、学校・家以外の場所があり、バランスがとれているように思う。	
	⑯ 事業所の支援に満足しているか	12			・緊急一時やレスパイトにも迅速に対応してくれている。 ・保護者が放課後に期待する以上の支援をしてくれていて、さらに色々考えてくれて、満足を超えています。	

注1 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2020年2月実施／第2まつぼっくり子ども教室

常勤1名・非常勤4の回答

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	意見
施設・設備の整備	① 利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか	5			
	② 指導員の配置人数は適切であるか	2	2	1	・子どもの参加人数が少ないため、結果的には適切だが、欠員が出ている。 ・日によってだが、人員不足の時があり、個々に負担をかけてしまう。
	③ 子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故障などはないか	5			・安全のため、損壊・故障箇所を見つけた時には修理や、場合によっては撤去をしている。
	④ 子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	5			・外出先など、活動の中で人数確認の徹底を行なっている。また、玄関から出る際には大人が先に出るようにしている。 ・部外者の侵入が起こらないように、防犯カメラを設置している。
活動の全体状況の整備	⑤ 虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっているか	3	1	1	・研修や反省会で確認をしているが、まだまだ十分ではないと感じることがある。
	⑥ 防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか	3	1	1	・訓練としては行なっていないが、活動の中で避難場所公園に行ったり、日頃からスタッフ間でのコミュニケーション(何かの時に連携できるような)を取るようにはしている。
	⑦ 感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行なっているか	4		1	・行政から通知が来た時には掲示等で周知し、その都度徹底している。
	⑧ 個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか	5			
	⑨ 子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか	5			・危険性が高い時には『ひやりはっと』の作成も行なっている。 ・その都度伝えている。打ち合わせに情報を出したり、注意を徹底する。
	⑩ 食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか	5			
	⑪ 子どもの活動の記録を書いているか	5			
実践的な力量の向上	⑫ 子どものことがわからないと感じたとき、どうしてなのかと考えたり、働きかけて変化をつくりだしたり、ほかの職員に意見を聞くなどしているか	5			・打ち合わせの時や、それに関わらずその都度、に自分の思い(仮説)を伝えたり、周りの意見も聞き、確認をしている。 ・反省会などを通して、スタッフ同士で話すことがある。
	⑬ 子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか	5			・反省会やミーティングで意見交換を盛んに行なっている。
	⑭ 気持ちの育ち(人格の形成)には、その子固有のテンポがあるということや、子どもの発達に、ひたすら前進するのではなく、新しい矛盾を抱え込むということを押さえて、子どもを理解しようとしているか	5			・毎日の反省会やスタッフミーティングで状況や変化出し合い、話し合っている。
	⑮ 学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか	5			・自身では理解しているつもりではいるが、スタッフ集団の中で周知徹底できているかといえば、十分に発信できていないのでは、と感じることがある。 ・疲れている子どもには無理をさせず、強制しないようにしている。
	⑯ 子どもの育ちの状況を確認し、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか	5			
	⑰ 会議や研修会を定期的に関いて、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか	5			・機会は作っているが、それを十分に活かされているか、その進行については日々自答している。 ・月2回のスタッフ・ミーティング、毎日の反省会を行なって話し合っている。
	⑱ 子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか	5			・スタッフ研修会その他、ボランティア講座や『星に語りて』の映画鑑賞会に参加した。
保護者・関係者との関係づくり	⑲ 保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか	5			・十分ではないかもしれないが、努力はしている。
	⑳ 保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか	5			・引き継ぎや行事の際には話すようになっているが、それらの場面で顔を合わさない保護者に対しては十分に行なえていない。 ・帰りの会に引継時間をもうけて、状況を伝えている。
	㉑ 保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか	5			・何かあった時にはスタッフ間で共有し、対応するようになっている。 ・職員に伝え、職員から対応してもらう。
	㉒ 苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか	4	1		・具体的な事象がなかった。
	㉓ 学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか	5			・文化祭、体育祭などの行事に参加している。 ・子どもたちもスタッフが参加することを楽しみにしているようで、その都度子どもの方から誘ってくる。

<正規職員への設問>

保護者・関係者との関係づくり	①	保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか	1		
	②	会報などを定期的につけて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりしているか	1		
	③	保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか	1		
	④	親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか	1		
	⑤	学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか	1		
	⑥	学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか		1	・機会はなかったが、日々の引き継ぎ時などに話をするようにしている。
	⑦	学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡を取っているか	1		
	⑧	地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか	1		
	⑨	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか	1		

<管理者への設問>

保護者・関係者との関係づくり	①	子どもが入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明しているか	1		
	②	障害児相談支援事業所の担当者と連絡を取っているか	1		
	③	協力してもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	1		・協定は結んでいるが、実際に対応したことははない。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

2019年2月実施／第2まつぼっくり子ども教室

回答率88%

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	ご意見	改善策等
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7				
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1			
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1			
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	7			・こだわりの変化や思春期の心の不安定なところも教えていただけるので、とても助かっています。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか(注1)	7				
	⑥ 虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか	7				
	⑦ 火災や地震、感染症などの対策がなされているか	6	1		・感染症に関しては、タオルの共有はしないようにお願いします。 ・台風の時に教室に避難している方がいて、“ここは頼もしい”と思いました。	・タオルの共有はしないよう、徹底します。
保護者への説明・関係づくり	⑧ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7				
	⑨ 日頃から子どもの状況を職員と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7				
	⑩ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7				
	⑪ 保護者会活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7				
	⑫ 保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				・ご意見等ある場合は、いつでも職員にお伝えください。職員に直接伝えづらい場合は保護者会役員にお伝えください。また、当法人は専務理事が苦情受付責任者となっております。法人に伝えづらい場合は、下記に連絡してください。 東京都社会福祉協議会 福祉サービス運営適正委員会 03(5283)7020
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を、保護者に対して発信しているか	7				
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	6	1			・書類の整理整頓を始め、個人情報の管理に対し、常勤、非常勤問わず、再度徹底します。
満足度	⑮ 子どもは通所を楽しみにしているか	7			・まつぼっくりに通う日を楽しみにしています。	
	⑯ 事業所の支援に満足しているか	7				

注1 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2020年2月実施／さくらんぼ子ども教室

回答率100%

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	意見
施設・設備の整備	1 利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか	6	1		
	2 指導員の配置人数は適切であるか	4		3	・人数比があつて、外出を控えざるを得ないときもある。 ・特に長期休業中は指導員が足りず、ボランティアに頼らざるを得ない。
	3 子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故障などはないか	4		3	・施設が古くなってきているため、補修が必要な箇所がある。
	4 子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	7			・大家さんや大家さん宅への訪問客、宅急便の業者などにも挨拶して、部外者が入りづらいように意識している。
活動の全体状況の整備	5 虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっているか	5	1	1	
	6 防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか	2	4	1	・子どもそれぞれの防災用品をロッカーに、事業所全体で食料備蓄をしている。避難訓練はしていないので、避難場所などわかりやすくしてであると安心。 ・定期的には行えていない。防災用具を持つての避難訓練も必要かも知れない。
	7 感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行なっているか	3	3	1	・日々の反省会などで、緊急時や感染症の対策を定期的に話し合つて確認できると良い。 ・感染症を予防するために必要な物も、きちんと準備する必要がある。
	8 個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか	6	1		
	9 子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか	7			・責任者がいない場合にも伝わるように、記録を残す等して伝えている。
	10 食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか	7			・入室当初だけでなく、行事や宿泊など折に触れて新しい情報を追加するようにしている。
	11 子どもの活動の記録を書いているか	7			・記録を取る時間を日々設けている。
実践的な力量の向上	12 子どものことがわからないと感じたとき、どうしてなのかと考えたり、働きかけて変化をつくりだしたり、ほかの職員に意見を聞くなどしているか	7			
	13 子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか	7			
	14 気持ちの育ち(人格の形成)には、その子固有のテンポがあるということや、子どもの発達は、ひたすら前進するのではなく、新しい矛盾を抱え込むということを押さえて、子どもを理解しようとしているか	6		1	・今後の子どもとの関わりの中で、“矛盾”を具体的に捉えていきたい。
	15 学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか	7			・学校での頑張りが金曜日は1週間の疲れ、学校行事練習期間の疲れなど、意識するようにしている。また、保護者や教員、子どもから学校での様子をできるだけ聞くようにしている。
	16 子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか	7			
	17 会議や研修会を定期的に関いて、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか	7			・内外部の研修に参加して、学びの機会に触れている。 ・反省会やケース会で、子どもの状態を共有し、バイトやボラにも子どもが頑張っていることや、できそうになりつつある(うまく支援してほしい)ところを伝えている。
	18 子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか	4	2	1	・放課後連東京の研修に参加している。 ・興味はあるが、時間がなくて行けないことが多い。 ・外部の学習会に参加できていない。 ・自分の積極性が足りない。
保護者・関係者との関係づくり	19 保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか	4	2	1	・様々な活動での子どもの様子を話したりする中で、こういうことができるようになってほしいと思つているんだなと感じられることがある。
	20 保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか	7			・帰りの引き継ぎ時以外に、行事等利用して話している。6年間在籍する中での変化等も共有するようにしている。
	21 保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか	5	2		・話を聞き、対応できることはし、職員にも伝える。
	22 苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか	5	2		・保護者からの苦情を受けたことはないが、大家さんから敷地内の自転車の置き方について話があった時は、その場で謝罪し、職員にも伝えて謝罪してもらつた。
	23 学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか	5	1	1	・運動会や学芸会、学校公開等、予定が合えば、見に行くようにしている。 ・把握しようとはしているが、以前より先生とのコミュニケーションの機会が減つているように思う。

<正規職員への設問>

保護者・関係者との関係づくり	1	保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか	4		
	2	会報などを定期的につけて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりしているか	4		
	3	保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか	3	1	
	4	親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか	4		
	5	学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか	4		
	6	学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか	2	2	・今後そのような会議に参加していきたい。 ・必要なケースに関しては行なうが、全員分はできていない。
	7	学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡を取っているか	3	1	入学前の機関などの全体の体系を理解できていないと感じる。
	8	地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか	3	1	活発にはできていない。
	9	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか	4		

<管理者への設問>

保護者・関係者との関係づくり	1	子どもが入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明しているか	1			
	2	障害児相談支援事業所の担当者と連絡を取っているか	1			
	3	協力をしてもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	1			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

2020年2月実施/さくらんぼ子ども教室

回答率90%

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	ご意見	改善策等
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1		・屋外活動が多く、とても良い。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1			10:7~8の配置ができるよう、指導員の確保に努める。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	2	1		老朽化に伴う設備の保全に努める。防災の面からも。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	16	1			
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか ^(注1)	17			・様々な取り組みがあり素晴らしい。 ・通常活動以外の行事が充実。	
	⑥ 虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか	17				
	⑦ 火災や地震、感染症などの対策がなされているか	9	8		・防犯対策も含めて ・感染症の流行期は、タオルの共有等、心配がある。	備蓄食糧・水・防災セットなどの中身の確認と補充をする。感染症予防に必要な物をきちんと準備する。ペーパーを設置したり、個々のハンカチを携帯することを徹底する。
保護者への説明・関係づくり	⑧ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	2			
	⑨ 日頃から子どもの状況を職員と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	17			・毎日の送迎の中で、直接職員の方と話すことができ、些細なことでも話せる環境に感謝。大きな支え。 ・毎回、その日の活動内容や子どもの様子を詳しく報告してくれ、ありがたい。楽しみ。	今後も、引き継ぎや面談、親子行事などの機会を通して、子どものことについて意識的に保護者と話し、共通理解が持てるよう、努める。
	⑩ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17			随時、アドバイスや情報提供をしてもらっている。	
	⑪ 保護者会活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17			保護者活動がとても活発で、保護者間の繋がりが強い。	
	⑫ 保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	4		苦情はないと思う。	
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を、保護者に対して発信しているか	17				
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	17				書類は鍵付き書庫で保管しているが、データ(情報や写真など)は、とすると“個人情報”という意識が薄れがち。取り扱いに充分気をつける。
満足度	⑮ 子どもは通所を楽しみにしているか	17			・子どもが本当に楽しみにしている。 ・とても楽しみにしている。 ・毎回、通所を楽しみにしており、喜んでいいる。	
	⑯ 事業所の支援に満足しているか	16	1		・とても満足し、日々感謝。 ・学校から教室への送迎を完全にして欲しい。教室での親への直接の報告は大切。日々大変感謝。 ・子どもが充実した活動を送れ、大変満足している。	送迎については、現在、1人当たり週3回、それ以外は応相談という体制で行なっているが、スタッフ体制も含め、今後検討が必要。

注1 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。